京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久紳一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

雜報

世界周遊談（上）

東京經濟協會に於て　角田眞平君演說

▲完全なる皮相の見物　私は本年四月東京朝日新聞社主催第二回世界一週會に加はつて世界を一週して來ましたが僅々百有餘日間の旅行でありますから今朝下水水道道路等のことを見て居るかと思へば、晝には田舍地方に行つて居る、夕方は他の都會や名所を廻ると云ふ有樣で、宛然壓搾空氣で郵便を送るやうで、聊しも往來から橫を見ない、全く〳〵うわつらだけを見たのでありますから、之を完全なる皮相の見物と云つて宜からうかと思ひます。

▲旅館の不便　私どもは幸に自分か旅行する人であると云ふ觀念を去つて居つたから短日月の早く旅行をするとが出來たのでありまして、其旅人宿で同行者が落心したとなさは、一通りでない、晝の內は五十七八の同行者は一團體を爲して居りますが、夜になつて旅人宿に泊ると皆別々に室を與へられる而して用事は電話ですることになるから菓子を持て來い、水を持つて來い位は外國語でも出來るが、發音が甘く行かないから、入組んだ話は外人とは出來ない、だから止むを得ず往來を通る日本人に其用事を賴む、然し丁度好い鹽梅の時に、日本人が來れば宜いが、一時間も二時間も立つて居つて漸く逢つて用を辨ずる有樣でありました、なせかと云に一人のボーイに手附として二弗やる、之がベットの世話をして吳れる、又水を持つて來る掛りのボーイはる、之に亦手附をやる、斯くすれば際限が無いから一時間も二時間も立通しをしても日本人に逢つて之に用を賴むと云ふことになるので洵に不便を感じた者があつた、或東京の紳士が馬車屋に言葉が通じない、爲めに支那の公使館へ連れて行かれた例もありますし、又其土地に住んで居る日本の同胞も半日位は時間を潰して案內もして吳れましようが一日賴む譯には行かず、別に案內を賴まうとすれば一日二日かゝると云有樣でした。

▲食事の時間なし　私どもは右云ふ通り壓搾空氣でありますから其早きと飛ぶがやうに行くのでありました、麻胡々々して居ると一行から殘される恐れがあるのです、中には小便をする時間が無い、飯を喰はぬ人は必ず一日に二三人あると云ふ有樣でした、それでクック社の切符を持つて行けばどこでもすら〳〵と通る、さながら皇族のやうでもあり、また荷物のやうでもありまして一週間滯在する土地なれば、先づ三日間は團體で見物する、殘る四日は自分の勝手の方面を見る、即ち下水とか水道とかを特に調ぶる、又土地に友人でもあればどこが料理が甘いとか云ふ處に行くと云ふが如く丁度其土地の裏と表とを見る譯になるのであります、であるから隨分失錯談があるのであります、これから此表裏を申たいのであります。

恩賜金の授產種類

今回下賜せられたる恩賜金一千七百餘万圓の利子八十五万餘圓は既報の如く敎育、授產、及凶歉の救濟に充當すべしとのことは寺內總督の訓示に依りて確定せることとなるが此內授產に使用する分は五分の三即ち五十餘万圓にて如何なる種類の授產に實用せらるべきやは目下各道府郡に於て調査中なれば其細目を知る能はざれども養蠶業の奬勵は主要なる部分を占むることゝなるべし從來農商工部に於て是等養蠶業に關する補助の程度は本年の養蠶季節に於て二十七ヶ所の傳習所に對し三百圓乃至四百圓の補助金を交附し稚蠶共同飼育所には約五十圓づゝを補助して交附したる總額七千餘圓に上りたる狀況なれば將來は充分なる保護と範圍の擴大に依り朝鮮今後の蠶業界は隨分見るべきものあるに至るべしと云ふ尙全州及び晉州地方に於ける楮の栽培に依り紙漉等も勃興するに至るならんと

●朝鮮海漁期に入る

朝鮮沿岸に於ける漁期は夏期最も緩漫にして秋期より春末に至る間を最も殷盛とし就中今十月より十二月及び一、二、三の三ヶ月尙は多く產地としては東北迎日灣より南は濟州島、西は海南島を中心とせるが殊に咸鏡南北道近海鯨漁場を最とす而して全漁場を通じての鯛、鰆、鰤、鯖、鱈、鰮、海鰻、鰈、鮪の漁多けれども今後の漁期に於ける特產物としては鰆、鰤等最も多しといふ尙此頃に至りては各漁場とも近海沿岸の漁獲減少し來れるを以て目下盛んに遠洋に向て發展を試みつゝありと

雄基灣の概況（二）

▲地勢と物產　北韓の地たるや所謂東朝鮮にして半島の中軸たる長白山脈は此處に大少となり分脈を蜿蜒せしめ原野に乏しく地味の磽确と氣候の冱寒は經濟的發展の餘地なきが如きも其實は全く想像に反し海に陸に特有なる物產頗る饒多に未だ曾て各道に見ざる底の富源を埋藏しあるに係らず國民の遊惰と無能とは之れが開發に留意するなく空しく荊棘の蔓びるに委かせたるを以て多くは世に紹介せられざりしが沿岸幾多の港灣は日韓兩國の協約に基き追次各國通商港として開放せられたれば北韓の物資は忽然として此等開港市場に集散し來り其殷盛は朝鮮の富源をして北韓に集中せしむるの一大壯觀を呈せんとするに至り而して之れが貿易も年々繁激を極め北鮮の各港灣に於ける輸出入額を計上するに正に千百八十萬餘圓を超過せり之れ誠に昏鈍覺醒の初期にある狀態にして之れによりて容易に北鮮の將來を知るを得べけん加ふるに北滿に於ける寶庫鎖鑰の開かるゝあらば其發展進步は實に測り知る能はざるものあるや明かなり而して戰役經營の膨脹は各地に波及し更に進んで露領沿海州は勿論南滿の曠野に輪瀛を決し將に大飛躍を試んとするに際し何ぞ之の好個の富源に對し輕々看過するの愚を學び得んや宜しく適當の資本家と確實なる事業家と相待て深遠なる畫策を爲し經營するに至らば埋沒せる富源を開拓し得るのみならず施いて邦人商權の發展を爲すと共に國家致富の要素たるべきや必せり今北韓經濟區域に於ける生產力に付之れを概括一縷述する所あらん蓋し斯言の架空に非らざるを知るべし却て邦人が宿年有せし皮想的朝鮮觀は飜然として其妖雲を排するなるべし試に其主要なるものを擧ぐれば即ち大豆の如き到る處に之れを產出し品質極めて良好なり麻布の如きも朝鮮唯一の良品に位し生牛に至りては牧畜の幼稚なるに係らず其生育の良好播殖の頻繁は實に驚くべきものあり本邦產に比し何等の遜色を見ざるなり森林の如きは豆滿江の上流より十數里に亘り肉斧鉞を容れざるもの繁茂し能く落葉松、赤楊、杉、樅等を產し建築界の新要求に從ひ之の無盡藏なる良材の搬出を訴る時あるべし及礦山も金、銀、銅、石炭等の財寶を收めて漸く眠より起たんとし砂金も殆んど所として產出せざるなし今は僅かに鮮人の疎略なる方法に依り採拾するに過ぎず若し礦業家の探見を縱ましむるあらば絕大なる遺利を發見するに至るべし加之北韓沿岸の一帶は魚族に豐富なること朝鮮第一にあり就中彼の有名なる明太魚の如きは優に八道の需要を充たし盛んに之が供給をなせり尙鮭漁捕鯨等有利なる事業殆んど投擧に遑あらざるなり（未完）

講談

越後傳吉

大岡政談　第九十八回　旭堂南陵講

これを聞て傍らに饂飩となつて控へた庄左衞門の顏色がサツと變つた、齒を喰ひしばつてたゞ差俯向く有樣、越前殿は名奉行、れ調べ中はうの人間の申すことを聽て居られる傍ら、庄左衞門の樣子をジロリと見られた　越「ム、それから　金「それから貴下、高田の方に參りますと馬子が來まして、高田まで行くだから高田の立場まで乘せて行かうといひますから、丁度足も痛めて居つた折柄これ幸ひとそれ岩を乘せ、私か他からブラ〳〵參りましたところが、高田の在に入つて見ると、そんな馬子は來ないといふ、ヤアそれぢやア誘拐されたかと思つてサア急に搜し出したのでございます　越「ム、　金「段々聞いて見ますと、近藤卜齋といふ宮戸村に上手な易者があります、それに一ツト占ふて貰へといふので、其所へ參りました　越「ア、コリヤ〳〵待て　金「ヘイ　越「其方その近藤卜齋なる者の家にて出合ふた者があるか　金「ヘ、其所に居る傳どんに出合ひました、スルと卜齋のいふのに私の女房は死んで居ると申します、私はもう精力も拔けてしまひました、切めて死骸だけなりと調べてやりたいと、其の翌日泉河原へ參りますと彼のヅツと下流の恐ろしい深い處に柳の樹が垂れて居ります、其所に女の黑髮が捲付いて首だけ引ツ掛つてあるのを見ましたから、夫を檢べるといはの首で、もう仕方がムいませんから其首をば近所の寺へ葬りましてマア江戸へ歸つて來たやうな譯でございます　金「ナニ首なんどの滅多に止まるところではございません、たゞ毛が柳に捲付いたから止つたんで、男の首なんどありやアしません何でも其所ンとこの人に聽て見ると恐ろしい深い處だと申して居りました　越「左樣か」越前殿庄左衞門の方へ內々眼を着けられる、もう庄左衞門は蒼白の面體たゞワナ〳〵と顫ふて居るばかり、早や堪へかねたものと見ゑまして、パッタリ其所へ差俯向いてしまひました　越「その女には何か目標がなかつたか　金「ハイ別に目標といつてございませんが、さうでございます、私が御互ひに總合ふて居たときに、そのいはのいふのには主のことは一生忘れないと申しますから　越「コレ何を申すのぢや　金「恐れ入ります手續きですから申上げます、彼女の右の腕に金印いのちといふ字を入墨してあります　越「其方いわを乘せたる馬子人足には入墨でもなかつたか　金「エ家い勢ひで片肌脫ぎで馬を引張つて居りましたが、一寸見たら上り龍下り龍の入墨を一面に入れてございました」越前殿然もあらんといふ顏付で　越「相分つた三浦屋の番頭藤助　藤「ヘイ　越「其方かた抱へ遊女何祝なる者この金之助落籍をいたしたとの只今の申立て、相違ないか　藤「ハイ毛頭相違ございません　越「その者は何れから買取つたか　藤「ヘイ、エ淺草の河內松五郞と申しまして、別段にこれといふ稼業のない人でございます　越「ムヽ　藤「その人の家に發ばれて居りましたが十二の歲に禿といたして仲介者の三右衞門といふ者の手を以て買受けたものに相違ございません　越「ムヽその松五郞といふ者は如何いたした　藤「ご根が博奕をして暮しをつた者、只今では何所へ參つたか一向所在は知れません　越「相違ないか　藤「毛頭相違ございません　越「傳吉なる者其方かたに奉公いたし莫大の金子を蓄めたといふ、何ふうちや　藤「左樣でございます、マア吉原開けましてからこれだけの人間はもう二人とはなからうといふ位ゐでございました　越「ム、　藤「後にも前にもないのは傳吉、初めは米搗きから奉公に入り、どう〳〵番頭にまで成ました、能く蓄めるも蓄たものでございます、三百兩以上の金子を蓄めました、三浦屋の方では未だに私共一同傳吉を見習へ、それも傳吉のしたこと、これも傳吉のしたことだといつて傳吉のしたことは殘らず模範とされて居ります　越「相違はないか　藤「毛頭相違ございません」

京城新報

土地の活用

土地調査局に望む

先に韓國政府時代に創設されたる土地調査局は、總督府にて其のまゝ存續し、山縣政務總監は其の總裁を兼任し、副總裁には曾て沖繩縣に於ける土地調査の局に當り、經驗を積み智識を有せる俵孫一氏前官の儘任命された、余輩は該事業の成否が半島の經營に多大の干繫を有することを信ずるがゆへに、茲に一言するを禁じ得ぬのである。

余輩の見を以てすれば土地調査の事業は、半島が我が保護國と成り、統監旗が初めて掲揚されたる日に於て着手せらるべきものであつた半島の統治、財源の整理乃至殖產興業に至るまでを基礎とすべきは勿論である、然るに統監府は之れを怠つた、統監政治の基礎は抑も那邊に置かれたるものか實に亂暴の極みであつた、故に余輩は四十一二年の交屢土地及人口調査の必要を唱道した、併しながら不幸にして當局者は余輩の言議に顧みるべく餘りに緩漫であつた、尤も人口調査は度支部の手に依て稍稍を措くに足るの程度に於て之れを成されたとは云へ土地の調査は全然着手されずに終つた、これが爲めに隨分不都合と滑稽とが演せられた、韓國政府が其持株に對し東洋拓殖會社に土地を引渡したる際の如き其一端を暴露したものである、其の最も甚だしきは人民の私有地に、無斷に官衙が建てられて訴訟沙汰に成らんとせしこともある、其他斯る例は枚擧に遑無き程である、要するに土地の所有權は不確實の狀態にあつた、土地に對する放資者の尠きは當然のことだ、半島の如き土地を以て經濟上の最大要素と成せるに拘はらず、所有權不確定の爲めに土地の活用十分ならざるは寔に以て遺憾千萬である、然れど遲くとも成されざるには勝る本年土地調査局が設置された八個年繼續、費用千四百萬圓の豫算である、去程に其の事業の目今如何なる方面に於て如何なる程度に進められつゝあるやを問へば、京畿道中富平、素砂の邊に於て徐ろに從事されつゝありと聞ゆる、這は或は試驗の爲めかも知らぬが、余輩の考へを以てすれば、先づ都會より始めて漸次村落に、先づ中央より始めて漸次地方に及ぼすを可とする、何となれば土地調査の目的は利源の開發、產業の發達に在るは申す迄も無きことながら、當面の必要は土地の活用、資本の誘致を旨とする、是れ固より當局の熟知せる處なるべきに、土地活用、資本誘致に最も便宜なる都會を先にせざるは抑も何の意ぞ、加之徐に調査の步を進むるとは何事ぞ、當局者必ず曰はん、半島小なりと雖も面積八萬方哩、之れを調査整理する費用僅かに千四百萬圓、而かも八個年の繼續事業である、到底意の如く急施し能ふべきに非らずと、余輩は以て整理無き辯明と爲す、誰れも知る、今日半島に於て產業の發達より急なるは無いのだ、其の之れを圖るには土地の活用、資本誘致より起さねばならぬ、併合後の今更、韓政府時代に定められたる八個年繼續、千四百萬圓を固守せよと强いらるべき理由が何處に在るか、年限を縮めよ、經費を增せよ、必要の前には之れが可否を論ふべきものでは無いのだ、尙ほ聞く、調査に要する人員は可成朝鮮人を養成して使用せんとすと、經費を節し、朝鮮人に職を與へんとするのであらう、余輩も其の心懸けは是認する、が時勢急を要する今の秋に當りては實に呑氣の沙汰である、內地人にまれ朝鮮人にまれ孰れか用を爲す者を採用すべきである。

余輩は、偶今日資本誘致、土地活用に便なるの機運に際會しつゝも、所有權不確定の爲めに阻止さるゝの不幸を慨し、敢て言を進めて當局に謀るのである。

東京電報

▲皇后陛下の行啓

皇后陛下には本日午前十時御出門あらせられ新宿御苑にならせ給へり(十三日)

▲政府と關稅問題

日英關稅問題を解決すべく政府は來議會に於て新關稅一部の改正案を出す由爲めに政府の責任問題起り風雲急也

▲東京市又も出水

十日以來の豪雨未だ歇まず市內の各區床下迄浸水せし處多く道路には濁流溢れ市民は非常に恐怖せり(同上)

▲東京近縣の增水

群馬埼玉、栃木の諸川また增水し應急工事の堤防は破壞され危險極まりなく徹夜防禦中にして益々增水しつゝあり(同上)

▲東海信越線の出水

東海道線の各川及び信越線も出水甚しく何れも非常に危惧を抱けり(同上)

▲神宮例祭と遙拜

來る十七日は伊勢神宮の例祭に付き當日宮中にては午前九時神嘉殿に御座所を設け聖上皇后兩陛下東宮同妃兩殿下御遙拜あらせられ尙は當日賢所に於て神祭を行はせらる(十四日)

▲朝鮮兵備の方法

今後朝鮮に二個師團の配備を爲す筈なるが其兵員は師團增設によらず唯徵兵召集の際に右の二個師團分を增募する制を採用する由なり(同上)

▲議院建築委員會

同委員會は昨日貴族院に於て開會長谷場議長以下各委員太田、林田兩翰長も列席したり(同上)

▲山脇長官排斥運動

三評定官は愈免官されたるが山脇長官の行動を攻擊し議會の問題たらしめんと法曹界に排斥運動開始され其勢力盛にして長官は無理心中の地位に陷る形勢なり(同上)

▲次期の地質會議

目下瑞典ストックホルムに於て開催中なる萬國地質會議參列員井上調査所長よりの報告によれば次期は加奈太に於て一千九百十三年開會の筈なりと

▲徵稅成績の良好

本年度上半期の租稅收入實績は頗る良好に後半期は未來に屬すれど水害地方の減收額百二三十万圓は他に塡補の途なきにあらざれば後期も豫算以上の收入確實なるべしと(同上)

▲新造鳳車好成績

曩て新造中なりし聖上陛下の御料鳳車は愈々昨日新橋發岡山迄試運轉を行ひたるに成績極めて良好なり(同上)

▲鑛業法改正要點

次期議會に提出さるべき同案は目下調査中なるが改正の要點は不便なる項目を削除し又煙鑛毒被害民に對する賠償責任の規定にありと(同上)

▲練習船無線電信

本月下旬世界一週の途に上るべき商船學校練習船大成丸には無線電信を裝置する事と決し工事に着手したりと(同上)

雜報

總督邸の晩餐會

既報の如く寺內總督は十四日午後七時より在京英、米、佛、獨、白、伊の各國領事及同夫人三十餘名を總督邸に招待し晩餐會を開く尙ほ總督府よりは有吉總務部長官及小松外事局長兒玉秘書官の諸氏列席せり

國有地調査成績

驛屯土其他宮各宮庄土等の國有地は隆熙二年度以來度支部に於て管理すること〻なりたるが其土地の所在面積等不正確なりしを以て昨年より實地調査に着手し本年八月三十一日を以て全く終了を告ぐるに至れり今其調査に係る槪要を聞くに國有地面積は十一萬四千三百五十五町步にして右の外東拓會社に出資せし二千四百三十六町步並びに同社に賃貸せしもの七千四百八十五町步あり尙は火田及び係爭地にして實査を見合せたるもの若干あり而して從來の國有地總面積十一萬三千百七十九町步に對比し一割八分則ち一萬八千六百六十一町步の增加を示せり增加の原因は一に隱土の發見に基づくものなりと又其地目別は左の如し

一、田 四萬五千七百町步
一、水田 四萬四千六百十九町步
一、垈(宅地) 三千百七十七町步
一、其他 二萬八千百五十七町步
一、筆數 五十六萬二千四百四十一筆
一、小作人員 二十八萬四千百廿八名
一、小作一人當り筆數 約二筆弱
一、小作面積 四反七步

朝鮮國士嗣子恩賞

曩に朝鮮貴族授爵の御沙汰ありしが本日又當時顯官として將た國士として親日の旗幟を飜へし銳意國事に奔走し不幸中途兇手に僵れたる人々の功勞を嘉し我陛下には其嗣子に對し各若干の恩賞金を下し賜はりたるが何れも聖恩の厚きに感泣し直にそれ〴〵乃父の遺蹤を招祀し是れが報告祭を修むる筈なりと今其人名及び恩賞金を列記せん

金一萬圓	故戶曹參判	金玉均
金同	故吏曹參判	洪英植
金同	故度支部大臣	魚允中
金同	故內閣總理大臣	金弘集
金五千圓	故軍部大臣	安駉壽
金同	故提學	鄭秉夏
金同	故贊務使	權瑩鎭
金同	故學部大臣	徐光範
金同	故陸軍正領	禹範善
金同	故陸軍正領	李周會
金同	故部承旨	朴泳敎
金同	故南部都事	趙龍熙
金同	故外部大臣	俞箕煥

外二名にて都合十五名の嗣子が此恩賞に與れり因に記す右は恩賜公債にて二箇月以內に公債證書を下賜すべき旨寺內總督より添へて傳達せり

●總督夫人告別參候

十四日午前十時寺內總督夫人は令孃並に兒玉伯夫人と馬車に同乘藤波通譯官を同伴昌德宮に參候王妃殿下に謁見して近々歸東すべきにより告別の爲め參候せし旨言上したるに王妃殿下には非常に別れを惜まれて四方の物語りに時を移され夫れより德壽宮に參入して李太王並に嚴妃殿下にも謁見して同樣告別辭を述べ正午頃歸邸したり

●定例長官會議開會

十四日午前十一時より總督府に於て定例長官會議開會寺內總督、山縣政務總監、倉富司法部長官、石塚取調局長官、木內農商工部長官、有吉總務部長官、宇佐美內務部長官、俵副總裁、明石警務總長、大屋、池田の兩局長列席せり

●大觀光團の仁川着

豫定の通り鐵道局主催觀光團一行は豫定の通り十四日午後二時廿三分仁川着長途の疲勞もなく元氣頗る旺盛に既記の順路を經て日本公園に至り茶菓の饗應を受け午後四時各旅宿に投せり

●漁業の出願に就て

併合に次ひて官制改革あり諸官衙は組織變更の爲め自然事務の遲滯を免かれず從つて免許漁業の如き未處分のもの多き爲め出願者は手續上の變更を要するにあらずやと問合し來る者あるも當局者の談に依れば內部整理の爲めに遲れたるのみにして從來の通りにて毫も手續上に變更を要せず着々として進行すべしと

●仁川通水式の延期

仁川水道通水式は來る廿三日に擧行の筈なりしが準備の都合上三十日に延期

●大岡氏の送別會

京城記者團は十三日午後六時よりソンタクホテルに於て前京城日報社長大岡力氏の送別會を催したり定刻に至るや先づ京城新報社長の惜別の辭あり大岡氏は之れに對して一場の謝辭を述べそれより直ちに宴に移り一同サンペンの盃を擧げ大に岡氏の健康を祝し九時過ぎ散會せり因みに大岡氏は十五日午前九時南大門發列車にて歸鄕の途に就く筈なるが暫く故山に靜養の後更に東上すべしと

●決算報告委員會

十四日午後五時より京城日本人商業會議所に於て過日開催したる京城府民秋季大懇親會の決算報告に就いて委員會を開きたりと

●早大校友會開催

早稻田大學校友會は校友元特許局審査官杉田金之助氏京城日報社長吉野太左衛門氏の送迎會を兼十四日夜天眞樓に於て校友會開催

●大庭府尹の視察

十四日大庭京城府尹は龍山民團出張所事務視察及び桃山感化院、養蠶練習所を視察したり

●德富蘇峯氏出發

滯京中なりし同氏は十四日朝南大門驛發歸東したり

●每日申報の監事

元監視廳通譯官中村健次郎氏每日申報監事として入社

上海より輸入の絹麻布(上)

(度支部司稅局調査)

▲絹織物 近來絹織物の取引は活潑ならざるも上海附近は可也の需要ありしものゝ如し今春新糸の出高は例年に比し少なく價額は稍や高價を表はしたり從つて織出し高の少なき爲め自然織物の價格は上騰せんとしたるも買方は到底賣方が要する如き價にては買ふことを得ず從つて賣方に於ては引合はざるの筈なり朝鮮向に於ては殊に然りとなし朝鮮が昨年來不景氣なりし爲め安値にあらざれば賣行かざりしに依り從來朝鮮向織物を營み居りし者も漸次支那向きに營業をなし朝鮮輸出は減少せり然れども從來は過多の傾きありしに比して此の減少は却つて好都合ならむ乎是れを當業者に質すに朝鮮向きの減少は決して悲觀すべきにあらず日韓併合以來は需要を增加したる傾向あり是れ蓋し朝鮮に於ける農作物の好況を見越したるに基づくべしといふ上海市場に於て朝鮮向絹物輸出の大部を握り居るものは山東幇(山東商人の一團)にして七月末上海支那銀行破綻の結果金融市場の攪亂せる爲め是等の商人も亦影響を受け金融逼迫し到底買込をなし得ず賣方に於ても至急に資本を要するも賣る〻ことを得ず爲めに八月中に於ける朝鮮輸出は多く上海に於ける朝鮮向き輸出を營める日本人及び京城より出張し居る客商(目下二人程あり)等の買込みたるものにして是等の商人は餘りに金融の影響を受けず從來に比して易々と好利益を以て買込み得たり價格は舊六月新物の出荷初まるや昨年の安値に比して三四分高と見て可なるべく今後も價格は上騰の見込なく寧ろ尙下るならむとの見込なり又冬物の取引は八九十月の候に於て多く行はるゝも本年は少し遲れ八月中は餘りに取引なく是れより盛ならむとするの姿あり

合併後の產業振興策(七)

韓國銀行理事 木村雄次君談

是れまで貴紙に連載されたる諸士の御說に依て殆んど細大共に悉されて居ますね、デ箇單に槪括的に、吾輩は斯の如き考を以て居るといふ丈を話しませう。

第一、朝鮮に於ては生產業の中で何ものゝ振作を最先にし且つ最大の力を盡さねばならぬかと云へば、勿論農業本位の土地柄、斯業の獎勵に在るは云ふ迄も無いことで、朝鮮の開發には此の方針に於て進むことが捷徑なのでせう。サテ農業の振興なるものは一般的に云へば生產力を增殖せしむることですが其の如何にして生產力を增さしむべきかは專門家の研究に讓りて、茲に生產力の增殖と同時に甚だ必要なるは生產費の節約である、販路の擴張は之れに伴つて成さる〻からだ、而して生產費を節約せんとする要目の中には鐵道敷設、道路開鑿、港灣修築、機械の架設其他運輸交通の機關を設備するなどは最も重大なる事柄である斯くして販路を擴むる一方には、生產品を改良して相當の市價を維持し生產者の收利を多からしむることの必要を忘れてはならぬ、生產者を富ましむるは即ち國を富ましむるので產業振興の最終の目的でせう。

第二には各般の產業資本の放下を平均ならしむることです、例へば鐵道のみに厚くして他の方には薄くするなどは甚だ宜しく無い、勿論大資本を要する事業には大資本を投ずるは已むを得ぬことながら、爲めに小資本を以て成され得べき事業を閑却してはならぬ、萬遍無く薄くとも廣く資本を分配するとは產業振興を計るに當りて最も深き注意を拂ふべきものゝ一でせう。

各地生產の狀況

朝鮮各地最近生產狀況左の如し

▲京城は平作 京畿方面に於ける稻作は當初降雨多量にして作付反別の增加と共に發育極めて良好なりしも七八の兩月を通じて雨天勝にて雨量多きに過ぎ氣溫低く且つ日照り不充分なりしより今や到底豫想の豐穰を期し得べからざるものゝ如し

▲仁川は良好 一時天候の冷氣に過ぎたる爲め豐作物の前途如何やと危ぶまれしも幸ひに其の後天候恢復し經過良好となり今や米豆の收穫十分なるべき模樣なり尙ほ仁川水產會社に於ける水揚高は最近一ケ月の仁川水產會社に於ける水揚高は一萬七千五百四十一圓なりと

▲鎭南浦豐作 同地一帶の秋作は豐作の模樣にて已に新米の見本として回着せるものあり漸次出廻るべき見込みなり又漁業も次第に豐況なるものゝ如し尙は最近一ケ月の水揚高は八千三百八圓を算せり

▲平壤稻豐作 本年小麥は七分作弱にして價格不引合の爲め出廻り鈍り稻作亦た出來榮頗る宜ろし

▲木浦平年作 同地稻作は蟲害に苦しめられたる地方尠少ならざりしかも生育一般に良好なれば先づ豐作の見込みなり棉花作も木浦附近に於ける在來種は槪して成績良好なり尙漁業は近來稀なる不況なりと

▲群山八分作 豐作物は雨天續きなりし爲め蟲害を蒙むりたるもの多く槪して八分作の見込なり

▲馬山の蟲害 引續き降雨多量なるに米作は佳良大豆作のみ良しからず加ふるに近來少しく蟲害の徵あり撲滅に力めつゝあり尙漁况頗る良好なるも天候不順の爲め漁獲高減少せり

▲大邱は良好 稻作は夏以來降雨頻繁にして所に依り多少水害の憂なきにあらざりしが一般に成育佳良にして且つ用水充分なる爲め槪して豐作の見込大豆の作柄も亦良好なり

▲元山の大豆 同地は引續きて雨天なるに係らず農作の被害極めて尠なく大豆とも生育至つて良好にして大豆は平年の五割增收の呼高し

▲羅南の被害 一時平作以上の收穫を豫想したる北韓同地の農作は引續きたる霖雨により水害乃至害蟲の損害を蒙むり會寧郡の一部の如きは全たく收穫の見込なき處さへあり彼是れ平均するも到底二三割方の減少を免かれざるべく隨つて昨年の不作に引續き小農の受くる打擊は亦た頗る甚大なるものあるべしと

公人私人

▲長田義彥(專賣局主任)十三日廣梁灣
▲增坂長喜(光濟丸技師)同仁川へ
▲井原外助(電信技師)同釜山へ
▲安武千代吉(辯護士)同上
▲齊藤宗三郞(海軍主計中監)同上

▲京城手形交換高▼

十月	金高	枚數
十三日	二一四、九三九、九四	三二一

▲仁川港の出入船舶▼

△高砂丸 十五日横濱四日市神戶を經て入港
△日高丸 同芝罘より入港
△山東丸 同神戶門司長崎釜山經入港
△香椎丸 十五日午後五時唐津へ出港
△高砂丸 同 正午大連へ向出港

●正誤

拜啓陳者貴社十四日發行の貴紙雜報欄內御掲載の製麻會社創立と題する事件中中野武營氏社長云々は事實相違致居候に付此全文御掲載御取消被成下度此段願申上候也

朝鮮製麻株式會社創立事務所

▲海外法螺▼

本社は昨日の本紙に依つて故伊藤公銅像建設の議を再びした、半島の今日ある公に負ふところ尠なからずだ、公の一週年祭將さに來らんとす、記者は此機會に於て世人が建設の議を決せんことを切望する▲故伊藤公の銅像建設に附いては意味が幾つもある、まづ第一は公の偉德を不朽に傳へる爲めだ、次は公が日韓一家說の本家本元だからだ、次は公が第一の統監たりし事を記念する爲めだ▲併し第三項は皆日韓人乃ち內輪に關しての事だ、玆に藤公銅像建設に就いて外に對する一大理由がある、夫れは左の如しだ▲我國が淸國と戰つたのは文明の爲だ、我國が露國と戰つたのは文明の爲めだ、今度帝國が當半島を領有したのも文明の爲めだ、文明なるかな文明、帝國の大陸發展は實に文明の宣傳にあるのだ▲昔時スペインは新領土を得れば必ずソコへ十字架を建てた、我は半島を新たに領土として玆へ世界に示し、我も許す處の文明的政治家伊藤公の銅像を建てる▲伊藤公の銅像建設は世界に對する我大陸政策の表示だ、門戶開放機會均等疑ふ所はない、侵略主義とか黃禍とか云ふ聲は口を噤むであろう▲市內電車賃を一區三錢にするとは良い思付きだ、從來度々言つた通り幾ら一人頭率は高くとも空車を走らして居ては營業にならぬ▲今度區域變更をすれば前よりは良くなろうが記者の持論は區域變更にあらずして區域制の全廢だ▲東大門外から龍山迄を四區域とす、一區三錢とすれば四區で十二錢だ、會社では勉强した積りでも朝鮮人の懷に合はぬ▲で面倒な區域制を廢して三錢均一とする、乘客は必ず一パイだ、空車を走らすよりは遙かに得だ。

▲大阪期米電報▼

▲前場(十四日)十月限寄十五圓三十九錢止三十八錢▲十一月寄三十九錢止三十七錢▲十二月限寄四十錢止四十三錢▲後場(十四日)十月出來不申▲十一月限寄十五圓三十九錢▲十二月限寄四十錢

▲前場(十四日) 十一月二節九圓二十二錢▲出來高百五十石▲十二月一節九圓十二錢二十錢四錢一錢二十錢一錢二錢●錢二錢二十錢十九錢▲二節二十錢十九錢二十錢一錢二十錢一錢二▲出來高九千七百石▲後場(十四日)十二月一節九圓十八錢二十錢五錢六錢八錢三十錢二錢▲二節三十五錢六錢七錢四十錢一錢三錢三十九錢七錢六錢五錢四錢▲三節三十三錢六十八錢七錢九錢四十錢一錢三錢四十錢三十八錢九錢八錢七錢▲出來高五百六十石

仁川商況(十月十四日)

昨今農事端境ひと地方品薄の爲穀物の出廻り殆んど皆無にて僅かに殘穀と新早稻米の廻荷を見るに過ぎず相場は數日來の强合みを持續し古玄米上物叺込九圓七八十錢新玄米叺込十一圓新中白米叺込十一圓五十錢見當なれども孰れも本日は入津なく隨て腰强の姿なり

▲大豆 海州長鵜通津を取雜せ八十俵內外の入津にて相場は長端裸の六圓八十錢通津裸六圓六十錢海州叺込六圓八十錢にて手合出來たり氣合は强含の狀態なり

▲小麥 海州物三十一俵の入津にて六圓廿錢に手合出來たり氣配は弱合なり

▲小豆 海州赤小豆九叺入津六圓八十錢に手合せ出來持台の狀態なり

▲粟 中濟新粟十九俵入津四圓にて手合出來氣配は持合なり

▲大阪期米電報▼

▲前場（十四日）十月限寄十五圓三十九錢▲十一月寄三十九錢止三十七錢▲十二月限寄四十錢止四十三錢▲後場（十四日）十月出來不申▲十一月限寄十五圓三十九錢▲十二月限寄四十錢

▲仁川米取引所▼

▲前場（十四日）十一月二節九圓二十錢▲出來高百五十石▲十二月一節九圓十二錢二十錢四錢一錢二十錢一錢二錢▲二錢二十錢十九錢▲二節二十錢十九錢二十錢一錢二十錢一錢二十錢

▲後場（十四日）十二月一節九圓十八錢二十錢五錢六錢八錢三十錢二錢▲二節三十五錢六錢七錢四十錢一錢三錢三十九錢七錢六錢五錢四錢▲三節三十三錢六十八錢七錢九錢四十錢一錢三錢四十錢三十八錢九錢八錢七錢▲出來高五百六十五石

▲仁川商況（十月十四日）

昨今農事端境びと地方品薄の爲穀物の出廻り殆んど皆無にて僅かに殘穀と新早稻米の廻荷を見るに過ぎず相場は軟日來の强含みを持續し古玄米上物队込九圓七八十錢新玄米队込十一圓前中白米队込十一圓五十錢見當なれども孰れも本日は入津なく隨て騰强の姿なり

▲大豆　海州長湍通津を取纏め八十俵内外の入津にて相場は長湍裸の六圓八十錢通津裸六圓六十錢海州队込六圓八十錢にて手合出來たり氣合は强含の狀態なり

▲大麥　海州物三十一俵の入津にて六圓廿錢に手合出來たり氣配は弱含なり

▲小豆　海州赤小豆九队入津六圓八十錢に手合せ出來持合の狀態なり

▲粟　中淸新粟十九俵入津四圓[illegible]にて手合出來氣配は持合なり

花柳界の革命（十）

▽三業分立案の提供

本紙が花柳界の革命を叫號し初めてから未だ僅に一ヶ月程にしかならぬ然るに「花柳界の革命」なる語は已に早く一種の流行語となるに至つた、夫れは措き記者の提唱せる三業分立案は敢て決して珍らしいものではないが當地にては從來之れが行はれて居らなかつた爲めに如何にも新案の如く思はれもしたと見へる、記者が謂ふ所の三業分立案は即ち下の如きものであるのだ。

三業分立案

一、料理店　は料理のみを供給することとし内藝妓を置かず決して客を止宿せしめざる事

一、待合　大坂式の所謂盆屋風を純東京式とし如何なる名の下にも賣笑婦類似のものを内に蓄へざること　其筋にて從來の待合業者に向つて九ヶ月以後廢業すべく命令せられたるは至當の事である、されど彼れ等が舊套を脱して即ち東京式となせば風俗上の取締もなし易く從つて舊來此の營業に伴へる弊害の除くことも出來るから從來の待合營業者にして命令せられたる營業期間内若は其の後に於て新計畫を立てゝ願出たならば營業場所在地區を裏通り又は新道等に限定して集中營業を許可さるゝか宜からう

一、藝妓屋　此れも謂ふ所の東京式置屋組織とし全然料理店と分離し抱へ藝妓をして客の招聘に應せしむること但し地區を限定して集中することは待合に準ず

從來料理屋に遊ぶ人に取て不經濟であつたり風俗上に至大の惡影響を及ぼしたのは内藝妓が居つた爲めで昨年檢番なるものが出來て藝妓の取締り等をなす如くされたが此れはホンの名斗りで取締りをするものか料理屋の集合体で取締らるゝものも又料理屋と云ふのだから何んの矯弊に資する所もない、之れに反して淸水席とか中屋席とか云ふ置屋の方は何處へでも招ばるゝ處へ稼ぎに行くことが出來招ぶものも聘ばるゝものも實に便利なるのみならず客に取つては經濟　藝妓に取つては稼ぎ利益となる、現在の如に内抱へになつて居れば稼いでも稼いでも借金は殖へる一方、年が明けても夫れが爲めに年期を増さねばならぬと云ふ如な始末之れでは不可い、何うしても置屋組織を奬勵せねばならぬ、と云つたからとて現在年期中で借金のある内藝妓が置家へ轉ずると云ふことにならば必ず料理店から反對も出様が既に年は明けたが未だ借金がある、から勤めて居ると云ふ如き連中にして置屋へ轉することを願出づる場合其筋にては鑑札の書換等に年期と借金を混同したる料理店主の苦情は採用せぬ如に願いたい。

前述の如く案は極めて平凡だが此案を採用實行したならば今後當地花柳界の繁昌は疑ひなした、而して今や此の機運は熟して居る既に藝妓中の或者の如きは之れに反省して分離を實行したものも出來た、此の機運なるものは如何なる巨人の手にも挽回することは出來ぬ、若し之れに逆抗するものかあれば其の人の生存は危くなるのである、されば料理店主及び帳場諸君たるものは吾輩の案を採用して其の繁榮を期待す可きである（終）遊廓の事に就ては追つて發表することゝして一先づ玆に擱筆する

鮮人聖恩に感泣す

▽不埒極まる放蕩弟

朝鮮人が今更ならぬ日本　天皇陛下の聖恩の無窮なると司法警察官の公平なる處分に感泣したる事件あり京畿道廣州郡邑内面石世煥（四三）は郡邑内屈指の資產家にして財產約二十万圓以上と稱へらるものなるが同人の實弟石東煥（三八）と云ふは性質放蕩男にて金錢を浪費する事甚だしく實兄の迷惑胆々なるより石世煥は幾分の財產を分給して分家せしむる事となりし爲めに石東煥は京城西部古干洞百十統十一戸に居住したる後も前同樣厄介掛ける事度々なるに不埒にも石東煥は中部禁府后洞四十二統四戸林基郁（三八）と共謀して兄石世煥より多額の金員を騙取せんと謀り石東煥より林基郁に對し六千四百圓以上の債務を有するが如く證書を差入れ昨年九月石世煥を該手形裏書人として林基郁に金五千圓の手形を提出したる如く裝ひ之を訴訟代理人金澤松吉に依頼し京城地方裁判所に手形金請求事件の訴訟を提起し尚は石世煥の居住地を石東煥方なるが如く裝ひ呼出狀送達方を取計ひ欠席判決を求め該判決確定し執行文を求めて强制執行に移り訴訟代理人金澤松吉并に林基郁等は本年七月下旬石世煥の居住地に執行に立會或る一部分の强制執行の目的を達し歸京したり然るに一方石世煥は大に驚き直ちに京城に來り林基郁に面會し如斯事實なきより其理由に付嚴談せしに林基郁は露見を恐れ謝罪狀を入れ置き一方には石東煥並に金澤代言人に相談して金澤を告訴代人として石世煥を相手取り同人の爲めに兇器を以て生命に危害を及ぼすべしと脅迫されし爲め手形證を返還して謝罪狀差入たる旨の告訴を提起したり然るに北部署司法主任中野警部は林基郁が六千圓以上貸金を爲す資力あるや否素行等に付刑事をして探知せしめたるに林基郁は資力を有せず素行修らぬ者なる事判明し告訴されたる石世煥並に關係人石東煥等を取調の結果遂に前記の事情を自白せしより林基郁及石東煥に對しては文書僞造行使詐欺取財の被告として昨十四日檢事局へ送り訴訟代理人金澤松吉は目下安東縣に出張中不在の爲め取調出來ず情を知りて爲したるか否は不明なるも家宅捜索をなしたる由なれば歸京次第取調ある可しと石世煥は司法警察官に對し韓國政府時代なれば判決確定し執行文迄附與せられ今日に至りたる事件なれば到底意の如く行かぬ是れ全く日本　天皇陛下の無窮の聖恩なりと感泣したりと云ふ

此度芽出度年明けとなりしを以て南山町一丁目十六番戸に開業したる藝妓置屋きくや（電話一、三八三番）方より名乗りを上げたる元掬翠樓の文之助

●詐欺坊主の拘禁

既報大韓寺惡坊主問題に付長谷川町二丁目一樂樓酌婦古野さくが僞證罪にて拘引せられたるは既報の如くなるが其後秋場檢事の取調に對しさくは多くの大韓寺信徒より依頼され虛僞の申立をなしたるなりとて前申立を取消したるを以て令狀を取消し放還せられ惡坊主は拘禁せられたり

●増本好三郎起訴せらる

既報増本好三郎は直ちに伊藤檢事の手にて起訴せられ昨十四日豫審に付せらる

●仁川雜事

山口縣大島郡森野村大字柱木山崎與作長男友吉（三一）は一昨夜午後十時頃仁川花開洞蝸哺屋李某方に至り三十錢にてチョッコン遊ぶ事にて温屋へ入りしも敵方が氣に入らぬゆゑ別人と換へよと言い出し双方口論の末蝸哺蜜陽なる者を毆打し鼻口より出血せしめ且面部へ負傷せしめたるを以て本署へ引致せり▲仁川花町一丁目八の九番地池田坂次（一五）は一昨夜八時頃腸窒扶斯に罹りたるを以て直ちに避病院へ收容し居宅は警官衛生員出張嚴重に消毒せり▲敷島登樓客は二十一人にて費消金五十九圓三十錢

●西部管内の火事

十三日午後九時二十分西部盤松坊權政承（三四）二百統二戸姜周鎬（三二）方にて温突を焚きたる灰より新に燃移り出火したるが西大門分署よりは李警部巡査部長以下五名を引率し出張し附近のものと共に消防に從事し朝鮮家屋四間の内二間を燒失したるのみにて午後九時四十分鎭火したり

目と耳（十五日分）

▲浪花館　若遊三一座十五日の番組は伊勢參五目講談（若三郎）一と目上り手踊（遊枝）太田道灌（若明）圓遊伯普曲、盆衣紋流（圓三）世辭床（遊喬）開化の動物園滑稽浮れ節手踊（笑三）成田小僧三府音曲舞百種十八本扇（若遊三）和洋合奏ヴイオリン（菊地彪雪）大切電氣應用所作事（若遊三）

▲歌舞伎座　同座十五日の代り狂言は「琵琶歌」全十場二番目喜劇一場

●デ博士の講演

三十餘年間日本に在留し日本に於ける基督敎の宣傳に從事せる同敎界の名士デフオレスト博士來京の機とし日の出町京城基督敎會にては來る日曜日午前十時より禮拜說敎△同午後二時より婦人會を催し大和町京城基督敎青年會にては來る土曜日夜講演を依頼すと云ふ同氏は日本に對し深く同情を表し日露戰爭當時の如きは懇々歸米著述に演說に大に日本の眞意を紹介するに力めたる人なりと謂ば兩會共に多數の來聽者希望すと云ふ

●浄土宗青年會講演

十月十五日午後七時半より明治町浄土宗開教院に於て開會「佛敎倫理」水谷開敎使「時機」井上開敎使長

●メソヂスト敎會

旭町二丁目同敎會に於て十五日午後七時半基督敎講演會を開き來會者を歡迎す「聖靈とは何ぞ」平壤敎會牧師白戸良作君

三面寄書

京城日報子の矛盾　瓢六　玉

曾つては千紫萬紅と題し各地藝妓の紹介月旦を生命とせられし京城日報紙も德富先生の監督に屬してよりは其の主義を變換せられ藝妓の噂なぞは假にも禁物と相成申候やに御座候藝妓の本場新橋は金六町や日吉町やに根城を構へたる夫れとは異る京日子が今日の如くなるは當然とも當然に御座候然るに此所に不思議なるは藝妓の事なぞは假にも禁物と云ふ京日紙上に麗々しく妓生の事を掲載せられ居る事に候妓生と藝妓此の間に如何なる差異が御座るのやら伺ひ度きものに候尤も「ソリャ和郎も判らぬことを云ふ藝妓と妓生とは妓生と藝妓程違ふぢやねわか」位の御答辨ならば敢てれ手數を願ふには當り不申候の也

●畫工採用

寫生畵の心得ある者二名採用希望者は本社に來談あれ

▲平民文壇▼

▲或る人本願寺を糞糟に叩けば本願寺は亦都合のよい辯解をして居る或る書物にコー云ふ事が書いてある、世の人の過ちを形容するには盜蹠を象り自家を辯護するには堯舜を象る斯の如きは却つて是れ堯舜たらんことを他人に望み盜蹠たるを自ら甘んずるものたるを知らざるなりと、兩者の反省を望む（以の字）▲各官衙の工事並に人夫請負は凡て競爭入札に付せらるゝ樣聞き及び候處漢城衞生會の人夫請負は御指定なるや將た競爭入札に付せらるゝや敢て當局者に御尋ね申上候（城内の一民）▲旭町から本町へ移轉された〇〇醫院の御主人さん患者が少し殖ねたからさてなまけては不可ませんれ若いとは云へモ少し上下なく親切にして下さい（一時間待たされ生）▲花園町二十八番戸に貸家あり（社内守本）▲當地にはコンニャクの製造法を實際に知つて居るものなし僕は夫れを知つて居る入用の向は紙上にて（見聞生）▲本月十二日の當欄に本町一丁目根〇方事務員末永君云々とある記事は事實無根他の仲傷に出でたるもの根本君と小生さは別懇の間柄にして斯ることは斷じてないから該記事は取消して吳れと惡口雜りに申込かあつたから取消す（係）▲保さん親の頭を撲る子もある世の中ですからねら（小僧）

今日の運勢

●十月十五日舊九月十二日●二黑友引癸丑平△一白●起業開店婚談共同組合連盟の事見合せたるべし尙保證受印を禁す△二黑●新事旅行見合せの事酒色の害を戒しむ●遺失防ぐべし△三碧　起業計畫に吉其外手控の事△四綠　外誘提言に傾く勿れ總じて不如意の日諸事控へ目の事△五黃　家族從者の事煩累あり速滯保證貸借見合せの事△六白●會心の日大凡吉建築農業には尤も妙△七赤　利得ある日なり共同組合婚談取極め及逐行に妙△八白　改革整理移轉に吉其他平凡△九紫　委囑會見協議婚談相談中裁示談に吉撥病衞生に注意すべし（三一館）

●天氣豫報（自十四日午後六時至十五日午後六時）

北風晴後曇

十三日（華氏）最高溫度　六八、五　最低溫度　五二、三

祝日韓併合

今回併合記念として聊か祝意を表し且平素の御愛顧に酬ひんが爲め弊園に於ては此際本紙廣告に據り御注文被下候得ば定價より特に割引にて差上可申候間陸續御用命の程奉希上候

賜有効賞

宇治自園 茶 小包販賣

創業文政年間

宇治自園 茶銘録並定價表

一斤ニ付量目百六十目定

●濃茶製（各十匁）
初音 三十五錢
後昔 二十五錢

●薄茶製（各一斤）
上別 三圓
京ノ雪 二圓半錢
上極撰 二圓
別儀撰 一圓五十錢
廣葉 一圓

●玉露製（各一斤）
摘翠 五圓
翠玉 三圓
碧海 二圓
菊ノ露 一圓五十錢
清風 一圓廿錢
甘露 九十錢

●折物製（各一斤）
友白髪 一圓廿錢
白折 一圓
折鷹 八十錢
上雁 七十錢
雁ヶ音 六十錢

●煎茶製（各一斤）
宇治の花 八十錢
池ノ尾 七十錢
正喜撰 六十五錢
萬代 六十錢
山吹 四十五錢

●粉茶（各一斤）
玉上眞 一圓廿錢
玉眞 八十錢
玉露粉 參十五錢
喜撰粉 三十錢
山吹粉 十五錢

●川柳（各一斤）
青柳 四十錢
上川柳 三十五錢
川柳 二十八錢

鑵代 一斤入 十錢 半斤入 七錢 小半斤入 五錢
其他薄茶入小鑵及大函各種御好みにより調進可仕候

特色

●御注文は茶銘斤量御明記の上代金引換小包又は振替口座に御拂込御用命願上候
●一斤一圓以上の銘茶御注文の節は小包料特に弊園負擔仕候
但代金引換及鮮臺灣は差額丈申受候
●卸賣は特別の御相談に應じ可申候
明治三十六年四月實業獎勵の御趣旨を以て侍從官御差遣の榮を蒙り同時に製産品及業務の概況書を奉呈するの名譽を擔へり

山城國宇治青谷村
摘翠園茶舗 島本熊次郎
振替口座大坂九〇一一番

表具部開業

襖額屛風天井壁張及表裝一切並書畫の需に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任 網島久雄
眞光小太郎
（電話五六八）

本町一丁目元藤隈旅館は當方所有の家屋にして同旅館に貸與致し居候處今回主人歸國に就き全然當方にて引取り本田旅館と改稱し一部を改築し室内の裝飾を新たにし專ら衛生を旨とし諸般の設備を改善仕り且つ親切丁寧を生命として營業可仕候御案内の如く當旅館の位置は京城府尹警察署郵便局民團役所及新築韓國銀行等に接近し停車場への道程も近く左は本町大通り右は電車の通路を控へ交通の便は市内第一等に位ひし且つ頗る閑靜なるが上空氣の流通も至つて宜敷く蓋し旅館として間然する處無之と窃かに自負致し居候何卒四方の御客樣以前に倍し御引立の程奉願候

京城本町二丁目元理事廳前（藤隈旅館跡）
本田旅館
電話一〇六番

毛織物直輸入並に洋服調進商
京城本町一丁目
本田羅紗店
電話百〇六番 長電略（ホン）又は（ホ）

英國製 英國製 英國製 米國製

THE COMMANDER BIRMINGHAM ENGLAND
SWEET HOME BIRMINGHAM ENGLAND
MANUFACTURED BY THE KENNET CYCLE CO. ENGLAND
WESTFIELD

直輸入新荷着

英國皇室御料 コンマンダー號
實用車 スヰトホーム號
車體堅牢にして優美 ケンネツト號
實用車 ウイスト號

歐米各國自轉車直輸入商
京城本町二丁目
織居商店自轉車部
電話四八〇番（電略オ）

池田商會は交通機關の發達の一步として東大門内に駄馬運搬の出張所を設けたり

池田商會は各位の御便利を計り如何なる山間僻地へも確實に輸送を保證す
池田商會は賃金は駄馬一里一頭に付き金拾八錢（夜間及雨天等は二割増十里以下は一割増五里以下は五割増と定む）
池田商會は三十八年以來六ケ年間軍隊及陸軍倉庫等の駄馬輸送に專ら從事す尚一般御公衆の爲め益々事業を擴張し其送達を計る

食料品雜貨菓子製造所
京城南大門外
池田商會
電話（長）七五九番振替口座二四七番

京城東大門内三丁目二番戸
池田商會出張所

牛馬犬猫治療所
入院隨意
京城明治町三丁目（電話四二七番）
小川家畜醫院
院長 小川龜太郎

義齒術全般
京城旭町一丁目
齋藤英壽
電話一四一四番

清正 政宗 正則
醸造元

上酒 小賣壹升に付三十錢
卸賣は特別割引可仕候

清酒美淋燒酎醸造元並に日用食料品雜貨類
京城壽町三丁目
中井酒造場販賣部
電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして逐達致さすべく候

御用心なさいまだされますぞ

アイボリー石鹸の購買法

一包裝……表面に斜に日本文字で『アイボリー石鹸』と入れてありますから小供にも見わけがつきます
一商標……三日月に星の繪がかいてあります
一石鹸の色……白色ですけれど象牙色です、豆腐の様に白いのは眞正の『アイボリー石鹸』でありませぬ
一形……二ツつなぎですから、切つて使用になれば便利です
一無味無臭……少しも『アルカリ』性分を含まないからいやな味も臭もありません
一浮石鹸……の元祖です、夫れに泡立つことは他の石鹸より多くて使用の後洗ひ氣持がさつぱりします
一販賣店……化粧品店、藥店、雜貨店、どこにも賣つています

アイボリー石鹸の鑑別法

新荷着

法律事務所開設

今般左記の所に莊子辯護士出張事務所開設致し候に付き一般法律事務を懇篤に取扱へ仕候

仁川仲町二丁目五番地
辯護士 莊子斌事務所
主任 本内千代吉

資本金五百萬圓積立金百七十三萬圓
横濱火災海上運送信用保險株式會社
京城事務所 南大門通三共益社電話六九四

入齒補齒堂
京城水票橋通り二丁目
永井改作

總督府御制服調進

弊店は鮮土に於ける洋服業の開祖として將又卒先者として斯道の獎勵に努め汲々營々爰に十七年の星霜を閲するに至り弊店の調製服に對して世既に定評あり就中御制服は弊店の最も得意とする所諸官衙を始め殊に韓皇陛下時代より今日の李王殿下御一族の御用は依然として特定せられ居り弊店の光榮と致す所に御座候豫て英國に注文致置候制服地等今回多數到着仕候に付誠意熱心に御調製可仕候に付何卒御用命の程奉希上候 敬白

朝鮮各殿下諸官衙御用
京城光化門通
淺田洋服店
大島專藏
電話長四二二

平壤大和町
淺田洋服店出張所
電話長四二三

京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
（電話四百十二番）

入院隨意

仁川病院

院長 醫學士 由利弘
副院長 醫學得業士 長尾乙二
慈惠會醫學士 尾上早見
東京醫科大學撰科專攷 菊池徹
藥劑士 常盤光雄
電話十六番

京城相生町南門湯横（電話一二九四番）
自午前八時至午後九時
京城梅毒病院
●花柳病專門 附、痔疾一般
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田耕平

各官衙御用

營業科目

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
[illegible]
[illegible]食鹽
[illegible]料類

發賣特約

東京ランバート商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
[illegible]

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京京橋南鍋町一丁目十番地電話新橋三六九二

移轉廣告

從來南山町三丁目に於て裁縫割烹の教授致居候處生徒の增加と共に教場手狹と相成り萬事に不便不尠候間今回書肩の處に移轉仕候此段謹告候也
御新教場は理想的設備をなし益々斯業に勉勵仕候間此際入學御希望の方は何時にても教則等進呈可仕候尤も二錢郵券添付御申込被下度候

京城大平町二丁目（神田組前）
裁縫割烹教授所
野村サワ

本館 本町四丁目（贊化病院前）
特色 夜間撮影
河合寫眞館
電話一二六九

入院隨意
内科外科小兒科梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
電話（二一六）
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

最上醤油 上
特約販賣 仁川京城
高雄支店

佐賀セメント

右今回販賣致し候に付多少に不拘御用命被仰付度奉願候
佐賀セメント株式會社
京城代理店
南山町一丁目
電話三四四番
山村商店

芙江公州間出帆廣告

芙江發 毎日後一時（京城方面ヨリ急行接續）
公州發 毎日前七時（京城方面行急行接續）
（荷客共御取扱可申候）
御用向ノ御方ハ（京城仁川鳥致院芙江公州）中條店へ御尋被下度候

瀛船出港廣告

月串、甕津、海州行
隔日出港
天草丸 安來丸 成歡丸

仁川港海岸通
柴田回漕店
（電話四一九）